

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

2016石鳳祭

あふれる活気

「2016石鳳祭」が10月8、9日に開催され、活気あふれるキャンパスに多くの学生や卒業生、市民が集い、秋の一日を楽しんだ。

今年このテーマは改良や刷新という意味の「REFORM」。「今までの形式にとられず、新しいものを生み出して地域を巻き込んだ祭りにしていきたい。石鳳祭をより良いものにしていく」という思いを込めた」と遠藤志穂実行委員長(人間2・宮城県塩釜市)は話す。



軽やかな演奏で観客を魅了したSWO



石巻市の研究者が地元の茶の歴史を講演



模擬店の人気商品「李チヂミ」を販売する経営学部の李東勲ゼミ生



息の合ったダンスを見せたダンス愛好会

石巻専修大学 広報係
☎986-8580
宮城県石巻市 南境新水戸1番地
☎0225-22-7743(直)

2018年4月を
創立30年を
迎えます

ホームカミングデーも

石巻祭に合わせ8日に「ホームカミングデー」が開催された。旧友や恩師と笑顔を交わし、再び会を喜び合う卒業生の姿が数多くみられた。

ました。

模擬店や地場産品の販売、フリーマーケットでキャンパスはお祭り気分。市民の手で今年誕生したばかりの「石巻復興踊りエンヤドット」を宣伝する学生企画のコンテストも行われ、ビートの効いた曲に振り手を合わせる人の姿も。石巻地方のお茶の魅力を伝える講演会や、理工・経営・人間の各学部が主催する企画展にもぎわった。

杜の都での快走誓う

全日本大学女子駅伝壮行式

力を出し切って昨年以上の成績を。全日本大学女子駅伝壮行式が10月4日に学内で開催され、2年連続2回目のレイスに臨む部員たちに熱いエールが送られた。上位2校が本選に出場できる東北地区代表選考会は9月12日、宮城県総合運動公園(利府町)で行われた。1大学2チ



熱い応援を受け、笑顔で健闘を誓う部員たち

5人が米・メーコン大訪問

復興の現状も伝える



テイラー・アンダーソン記念基金による米国立ドナルド・F・メーコン大学(バージニア州)との交流事業に参加するため、学生5人(引率・大津幸一人間学部教授)が9月5日に渡米、16日まで同大などで研修し、教員や学生らと交流を深めた。国際交流センターの企画。同大は、ALT(外国語指導員)として石巻専修大学に派遣された。

昨年引き続き派遣学生に選ばれた及川秀真さん(理工3・宮城県仙石高)は「石巻の復興状況をより詳しく伝えることができた。私は教員志望で、テイラーさんのようにさまざまな人との交流を大切にしたい」と話す。交流事業は今年度で最終年度。7月には同大の教員や学生5人が来学した。

南東北大学野球秋季リーグ戦

惜しくも2位

南東北大学野球秋季リーグ戦の優勝決定戦が10月9日、福島県郡山市の野一樹さん(経営1・宮城聖和学園高)が最多勝投手賞を獲得したほか、首位打者賞、打点王の2冠に輝いた伊藤甲斐さん(理工2・岩手県専大北上高)が優秀選手賞、ベストナイン(三塁手)、新人王に選ばれた。12季ぶりの優勝を目指し、菅野さん、羽賀和也さん(経営1・長野県松商

杜の都駅伝は4・8㌔に花束を贈呈すると、会場は拍手に包まれた。原田諒麻主将は「昨年は6区で繰り上げスタートになりタスキをつなげなかった。あの悔しさをばねに、今年は練習を重ねて皆さんの声援に応えたい」と語った。

野一樹さん(経営1・宮城聖和学園高)が最多勝投手賞を獲得したほか、首位打者賞、打点王の2冠に輝いた伊藤甲斐さん(理工2・岩手県専大北上高)が優秀選手賞、ベストナイン(三塁手)、新人王に選ばれた。12季ぶりの優勝を目指し、菅野さん、羽賀和也さん(経営1・長野県松商

野一樹さん(経営1・宮城聖和学園高)が最多勝投手賞を獲得したほか、首位打者賞、打点王の2冠に輝いた伊藤甲斐さん(理工2・岩手県専大北上高)が優秀選手賞、ベストナイン(三塁手)、新人王に選ばれた。12季ぶりの優勝を目指し、菅野さん、羽賀和也さん(経営1・長野県松商